

平成 29 年度の自己点検・自己評価
に対する学校関係者評価報告書

学校法人 赤門学院
専門学校 赤門自動車整備大学校

第四回 学校関係者評価報告書

設置者	学校法人 赤門学院																	
学校名	専門学校 赤門自動車整備大学校																	
会議名	第四回 学校関係者評価委員会																	
開催日時	平成30年11月22日(木) 14:00~15:30																	
場所	宮城県仙台市青葉区川内川前丁61 専門学校赤門自動車整備大学校 3階会議室																	
出席者	<p><学校関係者評価委員></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">阿部勝自動車工業株式会社</td> <td>取締役営業部長 阿部 勝敏</td> </tr> <tr> <td>株式会社 赤門自動車学校</td> <td>専務取締役 國分 直人</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>理事長・校長 國分 活妙</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>全科教務指導長 福原 祥之</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>広報副室長 阿部 慎也</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>事務長 石川 良昭</td> </tr> </table> <p>※出席者：6名 欠席者：0名</p> <p><その他></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>就職室長 二瓶 秀行</td> </tr> <tr> <td>専門学校 赤門自動車整備大学校</td> <td>職員 小原 禎司</td> </tr> </table>		阿部勝自動車工業株式会社	取締役営業部長 阿部 勝敏	株式会社 赤門自動車学校	専務取締役 國分 直人	専門学校 赤門自動車整備大学校	理事長・校長 國分 活妙	専門学校 赤門自動車整備大学校	全科教務指導長 福原 祥之	専門学校 赤門自動車整備大学校	広報副室長 阿部 慎也	専門学校 赤門自動車整備大学校	事務長 石川 良昭	専門学校 赤門自動車整備大学校	就職室長 二瓶 秀行	専門学校 赤門自動車整備大学校	職員 小原 禎司
阿部勝自動車工業株式会社	取締役営業部長 阿部 勝敏																	
株式会社 赤門自動車学校	専務取締役 國分 直人																	
専門学校 赤門自動車整備大学校	理事長・校長 國分 活妙																	
専門学校 赤門自動車整備大学校	全科教務指導長 福原 祥之																	
専門学校 赤門自動車整備大学校	広報副室長 阿部 慎也																	
専門学校 赤門自動車整備大学校	事務長 石川 良昭																	
専門学校 赤門自動車整備大学校	就職室長 二瓶 秀行																	
専門学校 赤門自動車整備大学校	職員 小原 禎司																	
会議内容	<p><次第></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会および理事長挨拶 2. 委員紹介 3. 自己評価の結果について説明 4. 自己評価の結果について審議 5. 閉会 <p><審議内容について></p> <p>(1) 教育理念・目標 学校の理念等は学生便覧に記載しており、学生・教職員に周知を行っている。ここからどう取り組むべきかは、学生・教職員の共通の課題である。学生に対しては普段の生活や進路指導の時間を利用し社会人になるという意識の向上を図り、教職員に対しては定期的な話し合いにより意思統一を図っていく必要がある。</p> <p>(2) 学校運営 自己評価、課題、改善方策については妥当。</p> <p>(3) 教育活動 様々な内容の評価公表に対して、今までは議論が少なく、改善に向けた具体案が少ないと思われた。今後の改善方策として、職員会議等で教職員の活発な意見を求め、状況等を共有し、改善策を考える。平成30年度は職員会議の回数を年2回増やし、改善策を考える場を設ける予定である。</p> <p>(4) 学習成果 自己評価、課題、改善方策については妥当。</p> <p>(5) 学生支援 日本人学生の4割程度が奨学金を利用しているが、これからは企業独自の奨学金の活用も考慮する。企業側も自動車整備士を1人採用するまでに100万円程コストがかかるような実態もあるようなので、学校・学生・企業の間で奨学金等の仕組みを作りうまく活用できるかが今後の課題である。また、就職に対する意識が低い学生もいるので、就職担当とクラス担任が連携し精神面のサポートを継続していく必要がある。</p> <p>(6) 教育環境 実習の需要に対応した形で部品を購入しており、以前に比べて改善されている。</p>																	

(7) 学生の受入れ募集

平成29年度よりAO入試を導入し、一定の成果があった。今後、女子や外国人留学生といったターゲットをしばった見学会や、入学金の免除等の制度を活用し、入学につなげていく必要がある。

(8) 財務

現状は財務に対する教職員の意識、知識にばらつきが大きい。1人1人の認識・意識改革そして知識を持つ必要がある。また、教職員が学校の財務状況に危機意識を持ち、入学生を増やすよう考え、実践していくことが重要である。

(9) 法令等の遵守

自己評価、課題、改善方策については妥当。

(10) 社会貢献・地域貢献

学校の施設を開放しイベントを開催しているが、まだまだ充分とは言えない。一方、公開講座や教育訓練については、各団体より依頼が増えている。平成30年度になってからであるが消防署員や整備商工会の会員に対して講座を開いており、今後も増やしていく必要がある。

(11) その他

・平成29年度の自己評価の結果の内容とは異なる部分もあるが、平成29年度より当校に外国人留学生の入学が急増しており、外国人留学生への対応について以下のような内容で審議された。

外部委員の意見として、企業側では近年外国人技能実習生や外国人留学生等を自動車整備士として雇う動きが出てきている。その中で、自動車整備学校側で外国人留学生を教育して自動車整備士として育てていけば、企業側も日本人学生と同様に雇用するのではないかと、いうものがあった。

・自己評価の評価点自体は昨年よりも良くなっているが、回答した教職員の中には、評価点を付け忘れたり、教職員会議等できちんと話を聞いてれば答えられないような回答をしている者もいたので、自己評価の報告書や今回の学校関係者評価委員会の議事録を回覧することにより、情報の共有化に努めていく必要がある。それらを実行し、自己評価に対する教職員の理解度を深め、アンケートの問いに的確に回答してもらうことにより、来年は自己評価の内容を更に充実させ、学校がより良い方向へ進む手助けにしたいと考えている。

以上